

花巻市議会議員報酬に関する
市民説明会実施結果
(各会場分)

令和7年9月5日

1 開催日時及び場所

(1) 令和7年7月9日(水) 午後6時から

- ① 生涯学園都市会館(まなび学園)
- ② 大迫交流活性化センター

(2) 令和7年7月10日(木) 午後6時から

- ① 石鳥谷生涯学習会館
- ② 東和コミュニティセンター

(3) 令和7年7月13日(日) 午後2時から

- ① 生涯学園都市会館(まなび学園)

2 班編成及び担当会場

7 / 9 (水)	花巻	1 班	高橋 修 (東和・明)	及川 恒雄 (東和・明)	照井 明子 (花巻・共)	菅原ゆかり (東和)
		A 班	照井 省三 (花巻・社)	鹿討 康弘 (花巻・緑)	似内 一弘 (花巻・緑)	本館 憲一 (花巻・は)
	大迫	2 班	佐藤 現 (石鳥谷・は)	小森田郁也 (石鳥谷・緑)	羽山るみ子 (花巻・は)	阿部 一男 (花巻・社)
		B 班	久保田彰孝 (花巻・共)	伊藤 忠宏 (大迫・明)	若柳 良明 (大迫・社)	佐々木精市 (大迫)
7 / 10 (木)	石鳥谷	2 班	佐藤 現 (石鳥谷・は)	小森田郁也 (石鳥谷・緑)	羽山るみ子 (花巻・は)	阿部 一男 (花巻・社)
		C 班	櫻井 肇 (石鳥谷・共)	横田 忍 (石鳥谷・明)	盛岡 耕市 (花巻・明)	伊藤 盛幸 (花巻・緑)
	東和	1 班	高橋 修 (東和・明)	及川 恒雄 (東和・明)	照井 明子 (花巻・共)	菅原ゆかり (東和)
		D 班	小原 保信 (花巻・明)	藤根 清 (花巻・明)	内館 桂 (東和・は)	佐藤 峰樹 (花巻・明)
7 / 13 (日)	全体		高橋 修 (東和・明)	及川 恒雄 (東和・明)	照井 明子 (花巻・共)	菅原ゆかり (東和)
			佐藤 現 (石鳥谷・は)	小森田郁也 (石鳥谷・緑)	羽山るみ子 (花巻・は)	阿部 一男 (花巻・社)

※各議員名の下段()内には出身地域・所属会派名を記載しています。

明：明和会、は：はなまき市民クラブ、緑：緑の風、社：社民クラブ、

共：日本共産党花巻市議会議員団

目 次

参加者数及びご質問・ご意見数	1
7月9日（水）	
生涯学園都市会館（まなび学園）	2
大迫交流活性化センター	4
7月10日（木）	
石鳥谷生涯学習会館	7
東和コミュニティセンター	9
7月13日（日）	
生涯学園都市会館（まなび学園）	10

参加者数及びご質問・ご意見数等

日付	会場	人数	ご質問・ご意見等数		
			会場	アンケート	合計
7/9 (水)	生涯学園都市会館	5人	20	8	28
	大迫交流活性化センター	6人	23	6	29
	小 計	11人	43	14	57
7/10 (木)	石鳥谷生涯学習会館	8人	22	11	33
	東和コミュニティセンター	1人	4	1	5
	小 計	9人	26	12	38
7/13 (日)	生涯学園都市会館	6人	18	7	25
	小 計	6人	18	7	25
合 計		26人	87	33	120
平 均		5人	17	7	24

参加者の年齢構成（各会場分）

（単位：人）

会 場		～20代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	回答 (計)	無回答 (計)
7/9 (水)	生涯学園都市会館	0	1	0	1	0	0	2	0	4	1
	大迫交流活性化センター	0	0	0	0	0	3	3	0	6	0
7/10 (木)	石鳥谷生涯学習会館	0	0	0	0	0	6	2	0	8	0
	東和コミュニティセンター	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
7/13 (日)	生涯学園都市会館	0	0	1	0	0	0	1	1	3	3
合 計		0	1	1	1	0	9	9	1	22	4
割合 (%)		0.0%	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%	34.7%	34.7%	3.8%	84.6%	15.4%

生涯学園都市会館（7月9日）

※「ご質問・ご意見」「議会の考え方」は読みやすくするため、正確さを損なわないため部分的に文章上の整理を行っています。

	ご質問・ご意見	議会の考え方
1	・議会基本条例に基づく自己評価をしているのか。（自由討議を含めて）	・2年に1回実施しています。（直近はR6.6.18）
2	・物価高騰もあることから取り下げして欲しい。	・ご意見として承ります。
3	・花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会の議事録を公開しているのか、していなければするべきではないか。	・令和7年8月1日の花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会で協議し、ホームページで公開することとしました。
4	・一般質問を年数回行う人は報酬を上げるべき。	・議員は一般質問だけでなく多岐にわたって活動しております。
5	・実際の活動に対しての報酬が良いのではないか。	・ご意見として承ります。
6	・活動に対しての差があってもおかしくないのではないか	ご意見として承ります。
7	・他市町村と比べるのは無理があるのではないか。	ご意見として承ります。
8	・報酬を上げる場合の財源はどうするのか。	・議会の方からこの財源を使ってくださいとは言わない立場にないと考えています。なお、平成26年の議員定数の減により年間3,928万5,300円削減されている状況にあります。
9	・車の維持費については議員報酬かそれとも政策活動費から捻出しているのか。	・議員報酬から支出しています。
10	・定数を変えられるのか。	・定数は変えられるものです。平成23年9月に花巻市議会議員定数及び議員報酬調査検討特別委員会を設置しこの時に定数を34人から26人とすることを決定し、今回は報酬について調査検討したものです。自治体によってやり方はありますが、平成26年に定数は減らしましたが報酬は据え置いたままになっています。
11	・報酬を上げる財源については「ふるさと納税」も活用すべき	・議会の方からこの財源を使ってくださいとは言わない立場にないと考えています。なお、平成26年の議員定数の減により年間3,928万5,300円削減されている状況にあります。
12	・令和8年4月から報酬を上げた場合、次の選挙後では元の金額に戻るのか。	・次の改選が令和8年7月選挙であるが、4月に改正すれば改選後もその金額となります。

13	<p>・月額ではなく総額での比較が必要でないか。</p> <p>議員報酬の増額による報酬予算額の増</p> <table border="1" data-bbox="304 282 1321 535"> <thead> <tr> <th></th> <th>月額</th> <th>報酬年額（円）</th> <th>年増額</th> <th>定数減による 差額（34→26）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25年度（34人）</td> <td>339,000</td> <td>181,970,880</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>現在額（26人）</td> <td>339,000</td> <td>142,685,580</td> <td>-</td> <td>△ 39,285,300</td> </tr> <tr> <td>A案（100,000円増）</td> <td>439,000</td> <td>184,759,943</td> <td>42,074,363</td> <td>2,789,063</td> </tr> <tr> <td>B案（74,000円増）</td> <td>413,000</td> <td>173,806,238</td> <td>31,120,658</td> <td>△ 8,164,643</td> </tr> </tbody> </table>		月額	報酬年額（円）	年増額	定数減による 差額（34→26）	H25年度（34人）	339,000	181,970,880	-	-	現在額（26人）	339,000	142,685,580	-	△ 39,285,300	A案（100,000円増）	439,000	184,759,943	42,074,363	2,789,063	B案（74,000円増）	413,000	173,806,238	31,120,658	△ 8,164,643	<p>・総額での比較は次の表のとおりです。</p>																				
	月額	報酬年額（円）	年増額	定数減による 差額（34→26）																																											
H25年度（34人）	339,000	181,970,880	-	-																																											
現在額（26人）	339,000	142,685,580	-	△ 39,285,300																																											
A案（100,000円増）	439,000	184,759,943	42,074,363	2,789,063																																											
B案（74,000円増）	413,000	173,806,238	31,120,658	△ 8,164,643																																											
14	<p>・人口当たりの定数が適正なのか議論した中で報酬の上げ下げの比較も必要ではないか。</p>	<p>・定数については検証しておりません。</p>																																													
15	<p>・報酬を上げることは理解できるが、活動量が個人で違うので総合評価をどうするのか皆で話し合った中で市民の皆さんが納得できる状況であれば良い。</p>	<p>・ご意見として承ります。</p>																																													
16	<p>・市の給与上での位置づけが曖昧。</p>	<p>・ご意見として承ります。</p>																																													
17	<p>・活動量によって報酬が決まるのもありではないか。</p>	<p>・ご意見として承ります。</p>																																													
18	<p>・各市町村によって政務活動費も違うので、全体を評価するための材料が欲しい。</p>	<p>・県内各市の政務活動費は次のとおりです。</p> <p>政務活動費（県内14市）</p> <table border="1" data-bbox="799 1077 1278 1812"> <thead> <tr> <th>市名</th> <th>月額</th> <th>年額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>盛岡市</td> <td>50,000</td> <td>600,000</td> </tr> <tr> <td>奥州市</td> <td>12,000</td> <td>144,000</td> </tr> <tr> <td>一関市</td> <td>15,000</td> <td>180,000</td> </tr> <tr> <td>北上市</td> <td>20,000</td> <td>240,000</td> </tr> <tr> <td>花巻市</td> <td>20,000</td> <td>240,000</td> </tr> <tr> <td>滝沢市</td> <td>15,000</td> <td>180,000</td> </tr> <tr> <td>宮古市</td> <td></td> <td>150,000</td> </tr> <tr> <td>大船渡市</td> <td>7,000</td> <td>84,000</td> </tr> <tr> <td>久慈市</td> <td>10,000</td> <td>120,000</td> </tr> <tr> <td>釜石市</td> <td>15,000</td> <td>180,000</td> </tr> <tr> <td>二戸市</td> <td>10,000</td> <td>120,000</td> </tr> <tr> <td>遠野市</td> <td>10,000</td> <td>120,000</td> </tr> <tr> <td>八幡平市</td> <td>20,000</td> <td>240,000</td> </tr> <tr> <td>陸前高田市</td> <td>12,500</td> <td>150,000</td> </tr> </tbody> </table>	市名	月額	年額	盛岡市	50,000	600,000	奥州市	12,000	144,000	一関市	15,000	180,000	北上市	20,000	240,000	花巻市	20,000	240,000	滝沢市	15,000	180,000	宮古市		150,000	大船渡市	7,000	84,000	久慈市	10,000	120,000	釜石市	15,000	180,000	二戸市	10,000	120,000	遠野市	10,000	120,000	八幡平市	20,000	240,000	陸前高田市	12,500	150,000
市名	月額	年額																																													
盛岡市	50,000	600,000																																													
奥州市	12,000	144,000																																													
一関市	15,000	180,000																																													
北上市	20,000	240,000																																													
花巻市	20,000	240,000																																													
滝沢市	15,000	180,000																																													
宮古市		150,000																																													
大船渡市	7,000	84,000																																													
久慈市	10,000	120,000																																													
釜石市	15,000	180,000																																													
二戸市	10,000	120,000																																													
遠野市	10,000	120,000																																													
八幡平市	20,000	240,000																																													
陸前高田市	12,500	150,000																																													
19	<p>会議録は全部ホームページで全部公開することを検討して欲しい。議論の内容が見えない。</p>	<p>令和7年8月1日の花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会で協議し、ホームページで公開することとしました。</p>																																													

大迫交流活性化センター（7月9日）

※「ご質問・ご意見」「議会の考え方」は読みやすくするため、正確さを損なわないため部分的に文章上の整理を行っています。

	ご質問・ご意見	議会の考え方
1	・報酬月額案A案について、現行から月額10万円の増ということだが年収だといくらの増額になるか。	・A案の場合、現在の年額1億4,268万5,580円から増額の場合1億8,475万9,943円となり、年間4,207万円の増額となります。
2	・報酬増額した場合の議会全体の総額はいくらか。	・A案：年額総額42,074,363円、一人当たり年額7,106,000円（26人で割り返し） B案：年額総額31,120,658円、一人当たり年額6,684,000円（26人で割り返し）
3	・議員報酬はこれまで据え置かれていたものであり今回の案に反対ではないが、今回の算出方法は従来の算出方法なのか、適正な報酬を考える上で伺いたい。	・議員報酬の研修において原価方式による算出方法を教えていただきました。また、県内で先行して議員報酬の改定を行った一関市議会を視察し、その事例も参考にしてこのような算定としました。
4	・花巻独自の算出方法なのか。全国的にこのような算出方法なのか。	
5	・今回人口規模で比較しているが、本来は事業（予算）規模に合わせて算出すべきではないか。	・ご意見として承ります。
6	・合併以前にも議員報酬の改定を行っているとと思うがその際の手法とは違うのか。	・合併以前のは人事院勧告による引き下げであり今回のものとは異なります。
7	・花巻の議員報酬は県内で何位なのか、市職員の給与との比較もしているが花巻市職員給与が県内でどの程度に位置しているのかと比較した場合にアンバランスにならないか。	・県内市議会では5番目であり、市職員の給与はラスパイレス指数で、県内14市のうち8番目となります。 ※10/3 一部記載内容を修正しました。
8	・議員活動実態調査を6か月間行ったようだが参考にならないのではないかと。1年や1期4年間の調査を行う必要があるのではないかと。また、活動量が議員の報酬の算定根拠になるのか疑問である。市民からみて妥当だと考えられるのは県内の中で花巻が人口や財政規模などでどのくらいなのか市職員の給与はどのくらいなのかなどはないか。	・他自治体の事例を参考に6か月の調査を行いました。
9	・議員報酬が平成18年から変わっていないことには同情する。議員報酬については上げてもいいと考える立場。	・ご意見として承ります。
10	・根拠について、市職員の給与との比較をしているが、市の役職者はキャリアを積んで給与が上がっているものであり、議員に関しては何期当選したとしても同額であり、そのことを考えると疑問を感じる。	・ご意見として承ります。
11	・議員の専門性という話が出たがそういったものはあるのか。	・諸課題に対して議員が調査研究しています。

12	<ul style="list-style-type: none"> ・議員の活動を市民が知る機会が議会だよりくらいしかない。議会報告もあまり見たことがない。議員の専門性を磨く必要がある。10万円増はいかがなものか、40万円前後が妥当ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として承ります。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・A案について%にすると何%アップか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・約30%アップです。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・来年4月から改定の方針のようだが今後の流れを伺う。拙速感があると感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の説明会の結果を受け9月末までに案を特別委員会で決定し、その後市当局に見直しについて検討依頼をする。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・財源はどう考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の方からこの財源を使ってくださいとは言う立場にないと考えています。なお、平成26年の議員定数の減により年間3,928万5,300円削減されている状況にあります。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受けたという廣瀬氏の著書の中では議員の報酬は給与とは性格が異なり生活給ではないという見解が示されているが、今回の検討の中で報酬と生活給の違いは特別委員会では議論されたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬と生活給の違いも議論されたところですが、議会議員は自衛官や裁判官と同じく主権者である国民の皆さんから公平で公正な判断を求められており、経済的な安定を整えておくことが重要であるという考えも他市の事例でも示されています。若い方などが議会に進出できる生活基盤を整える必要もあると考えています。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員と議員では勤務実態も大きく異なり市職員の給与との比較は何も参考にならないと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として承ります。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会と町村議会でも報酬水準が大きく異なるが、例えば近隣の紫波町は報酬月額が30万円ほどだがかなり活動していると認識している。花巻市議会は紫波町議会と比べやっているかと断言できるか。花巻市議会は議案の委員会付託も行っておらず省略している。(答弁不要) 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会付託に関しては今年度二戸市と盛岡市へ視察に伺っており、今後の委員会活動の在り方について現在検討を行っています。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・外国では議員職はボランティア的なものであり手厚い待遇にはなっていない。議員職は基本的にボランティアであり生活が成り立つ、成り立たないというのは関係ないと考えている。無理に議員をやってももらわなくてもいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として承ります。 地方自治法203条の議員報酬の法的根拠に基づいて報酬が定められております。

20	<p>・財源をどうするのかという説明をして頂かないと納得が難しいと感じる。現在の活動量をみると月12日足らずであり、日割りにすればこれほどの給料をもらっている市民はなかなかいないと思う。納得させるためには地元だけでなく市内全域を歩き市民の意見を聞くような活動を行い、皆さんのやる気、切実な声を聞かせてほしい。</p>	<p>・ご意見として承ります。</p>
21	<p>・来年の選挙の際にそれぞれ争点にして市民の判断を仰ぐのもいいのではないか。</p>	<p>・ご意見として承ります。</p>
22	<p>・県議会では昨年2.3%ほどの増額改定を行っている。これを花巻市議会議員報酬に当てはめると月額8千円ほどである。</p>	<p>・ご意見として承ります。</p>
23	<p>・上田市長はこれまでに報酬の引き下げを行っているが、今回の改定に合わせて市長給与の改定を行う必要はないのか。県議会の場合は県知事の改定と連動している。</p>	<p>・ご意見として承ります。</p>

石鳥谷生涯学習会館（7月10日）

※「ご質問・ご意見」「議会の考え方」は読みやすくするため、正確さを損なわないため部分的に文章上の整理を行っています。

1	・報酬月額案について、全国的に報酬が高い市の具体例を示してほしい。	・人口規模5万人から10万人未満の全国で最も高いのは東京都千代田区（62.7万円）、次いで兵庫県芦屋市（59.1万円）、大阪府河内長野市（57万円）、奈良県大和郡山市（56万円）、大阪府泉大津市（55万円）。
2	・県内近隣市との比較だけでなく、全国平均に近づく、あるいは超える額とすべきではないか。	・ご意見として承ります。
3	・今後の全国的な賃金上昇も加味して検討したのか。	・特別委員会では、議員の活動量増加を見込み、原価方式で1日増・2日増の場合の試算を実施。過去10年間で市民の平均所得が約10%増加したことも加味して検討しました。
4	・説明資料の市職員給与との比較に加え、議員は特別職である点を考慮し、その分も加算して検討すべきではないか。	・ご意見として承ります。
5	・会社員と異なり、議員は24時間活動していると考える。	・ご意見として承ります。
6	・近年の賃金・物価上昇を鑑み、思い切った増額をすべき。	・ご意見として承ります。
7	・全国的な報酬状況から見て、花巻の報酬は低いと感じる。	・ご意見として承ります。
8	・明確な報酬額はわからないが、多様な活動のためには報酬増が必要。	・ご意見として承ります。
9	・物価上昇と活動量増加を考慮すると、報酬増額は必要である。	・ご意見として承ります。
10	・議員は特別職であり、首長と同様に選挙で選ばれていることを認識し市民のための仕事をしてほしい。	・ご意見として承ります。
11	・議員は特別職であり、首長と同様に選挙で選ばれていることを認識し市民のための仕事をしてほしい。	・ご意見として承ります。
12	・近年、市当局の提案議案に対する賛否の信認機関に過ぎないのではないか。	・ご意見として承ります。
13	・先進地視察等を通じて、議会として政策提案を行う活動を期待する。	・昨年議会でも常任委員会を中心に政策提言の取り組みが行われており、それに向けた先進地視察も実施しています。今後も議会として政策提言に努めていきます。
14	・議会基本条例第24条の「市政の現状及び課題を十分に考慮する」点について、特別委員会ではどのように分析したのか。	・議会の方からこの財源を使ってくださいとは言う立場にないと考えています。なお、平成26年の議員定数の減により年間3,928万5,300円削減されている状況にあります。

15	<ul style="list-style-type: none"> ・議会基本条例の「市民の意見を参考として検討する」点について、今回の市民説明会以外にどのような形で市民参画を行うのか、またその実施時期はいつか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の市民説明会の質疑・意見とアンケートに加えオンラインによるアンケートと議会モニターの方へのアンケートを実施します。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・会場アンケート以外に、市のオンラインポータルを活用し、より広く市民の声を聞くべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市のオンラインポータルを活用し、8月に加え、8月5日から8月24日にオンラインアンケートを実施する。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの議論のプロセス、特に小委員会の議論について、開示請求では見えない部分も含めて開示し、可視化を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として承ります。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年の大手企業の賃上げの一方、30年間賃金が上がらない状況がある中で、花巻市民の平均月収や年齢別・業種別の所得状況を把握しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年の花巻市の一人当たり所得は229.5万円、県内市町村平均237.2万円でしたが、令和2年には花巻市250.3万円、県内市町村平均266.4万円となっている状況を把握しています。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市の北上との報酬差はどのくらいか、市の財政差があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花巻市議会の報酬額は、月339,000円で、北上市議会の議員報酬額の月401,000円と比べますと62,000円低額となっています。 ・花巻市と北上市の令和5年度の決算額で比較しますと、花巻市は608億 4,896万8,000円で、北上市は461億7,718万8,000円で、花巻市の方が146億7,178万円高額となっています。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・議員の方々には市民にできない仕事をしていただいているため増額には賛成。民間企業のように利益を上げて給料が上がる構造と同様に、市政のためになる働きを期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として承ります。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の視点から見ても、給料が上がれば経済が回り、企業も良くなる。議員も一市民という立場から、議員報酬の増額は妥当と考える。近隣市の状況やこれまでの据え置きを鑑み、この機会に妥当な議員報酬にすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として承ります。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県の最低賃金は952円。エネルギーコスト上昇で一般市民の生活が苦しい中、月額10万円の報酬増がなければ議員活動に支障をきたすものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として承ります。 地方自治法203条の議員報酬の法的根拠に基づいて報酬が定められております。
23	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの議論で政務活動費の増額、正副委員長手当、病気等長期欠席者の報酬減額（北上市議会の規定）が議論された経緯があるのか興味があるが、市議会ホームページ等で情報にアクセスできないため、特設ページの作成等を検討してほしい。（回答不要） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として承ります。

東和コミュニティセンター（7月10日）

※「ご質問・ご意見」「議会の考え方」は読みやすくするため、正確さを損なわないため部分的に文章上の整理を行っています。

	質疑・意見の要旨	回 答
1	<ul style="list-style-type: none">・ 上げなければいけないことが分かった。企業と違って儲かったからあげることもない。市の財政状況も良いと聞いている。	<ul style="list-style-type: none">・ ご意見として承ります。
2	<ul style="list-style-type: none">・ 算定基準の考え方について伺う。	<ul style="list-style-type: none">・ 議員報酬の研修において原価方式による算出方法を教えていただきました。また、県内で先行して議員報酬の改定を行った一関市議会を視察し、その事例も参考にしてこのような算定としました。
3	<ul style="list-style-type: none">・ 当時の価値観からずれてきているので、結果を出さなければならない時期にきている。早急に改善するべきと思っている。	<ul style="list-style-type: none">・ 議員像が市民に理解される活動をしていければこれからの花巻市の発展の役目を果たしていけると考えています。

生涯学園都市会館(7月13日)

※「ご質問・ご意見」「議会の考え方」は読みやすくするため、正確さを損なわないため部分的に文章上の整理を行っています。

	質疑・意見の要旨	回 答
1	・報酬増額案の総額と一人当たりの額はいくらか。	・A案：年額総額42,074,363円、一人当たり年額7,106,000円(26人で割り返し) B案：年額総額31,120,658円、一人当たり年額6,684,000円(26人で割り返し)
2	・議員活動実態調査は、増額時だけでなく毎年実施すべきではないか。	・今後も議員活動の実態について定期的に調査・検証していくことを検討しています。
3	・今回の増額案の金額には反対。資料は増額することの情報しかなく、市民の平均給与や市の財政への影響が不明。情報提供が不足している。	・財政的な影響では、前回の特別委員会を経て定数削減を行った結果、年間3900万円ほどの削減が行われている。本来であればこの際に報酬改定を行うべきだったかもしれないが、市民の経済状況を鑑みて報酬を据え置いた経緯があります。
4	・今後、報酬を下げる方法について。	
5	・花巻市議会議員の報酬は低いと感じる。20年以上改定されていないことを鑑み、増額は必要。	・ご意見として承ります。
6	・いきなりの増額ではなく、何年かに一度、増減を含めて報酬の適正性を見直す制度を設けるべきではないか。	・ご意見として承ります。
7	・今後5年に一度など、議員の活動実態調査や報酬の検討を行うべき。	・今後も議員活動の実態について定期的に調査・検証していくことを検討中であり、小委員会でもご指摘の点は今後の検討課題として共有しています。ご意見を参考にさせていただきます。
8	・これまでの議員報酬議論では首長や市職員給与との比較はなく、市民年収を勘案していた。今回は検討されたのか。市職員給与との比較はどうか。	・平成23年からの10年間で、人口一人当たりの市民所得が10%上がっており、その点を参考に議論を行いました。
9	・議員の専門性が求められると資料にあるが、その担保をどうするのか。報酬を上げることで若い人や女性が出てくるという安易な考えではなく、別枠で議席を確保するなどの発想が必要ではないか。	・そういった考えもあると思います。参考にさせていただきます。一方、北上市の事例では無投票が続く中、若い方が報酬額を理由に出馬を辞退した話も聞くため、「若い世代や女性など多様な人材が議会に進出しやすい経済的な活動基盤を確保していくことも必要だと思います。
10	・議員それぞれの生活費や年齢はバラバラであり、市民と比較した場合にどうか疑問。生活給という部分をしっかり考えないと市民から不満が出るのではないか。	・年齢によっては年金や退職金があることも想定されますが、経済基盤が整っていない若い世代が議会に進出するためには、生活していくための報酬額も考える必要があると認識しています。

11	・今回の市民説明会の内容について、議会だよりの臨時号を出し全戸配布すべきではないか。	・他市では報酬改定決定後の市民説明会で臨時号を出す事例もありましたが、状況は異なります。前向きに検討します。
12	・議会活動について、政務活動費の増額は議論にならなかったのか。使い切っていない議員も散見されるが、政務活動費の増額や使い勝手の改善で議会活動が充実するのではないか。	・政務活動費の議論にはならなかった。報酬見直しについてであり、政務活動費の検証はしておりません。
13	・今回説明会を行っているが、議会で決めてしまえば市民がいくら意見を言っても遅いのではないか。	・報酬改定は確定したものではなく、今回のご意見も参考に持ち帰り検討します。
14	・10万円や7.4万円の増額は過大。もう少し節度ある改定額にすべき。	・ご意見として承ります。
15	・今回の市民説明会后、市民の意見を聞く場はあるのか。意見が聞かれて終わりになるのではないか。	・今回の市民説明会の質疑・意見とアンケートに加えオンラインによるアンケートと議会モニターを対象としたアンケートを実施します。
16	・今時給料が月額10万円上がる企業がどこにあるのか。	議員の活動量は以前と比して多くなり幅広くなっています。市民に安心感やサービスをもたらすための視点で考えた点もご理解をお願いします。
17	・政務活動費に関しても、現状議員の持ち出しが多いと感じる。議員のやる気がなくなるのも困るため、活発な議会にするためにも近隣市と同等の報酬額にする必要はある。	・ご意見として承ります。
18	・原価方式の月1回2回の活動量増は、10万円を超えるための試算ではないかと感じた。	・議員報酬の研修において原価方式による算出方法を教えていただきました。また、県内で先行して議員報酬の改定を行った一関市議会を視察し、その事例も参考にしてこのような算定としました。